

高校公民プリント（過去問類似）  
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.1

名前

得点

/10

問1 日本の裁判所が持つ違憲審査権の行使をめぐり、民主的に選出された国民代表機関である国会の判断を尊重し、裁判所による違憲判断は極めて慎重に行われるべきであるとする立場を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 罪刑法定主義                      2. 司法積極主義                      3. 違憲審査基準                      4. 司法消極主義

問2 労働者が使用者との対等な交渉力を確保し、労働条件の維持改善を図るために自主的に組織する団体であり、その加入割合を示す指標の国際比較において、日本とドイツのように同水準であっても1時間当たりの労働生産性に大きな差が見られることから、その組織率の違いが直接的に生産性の高低を決定づけるわけではないとされる組織は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働金庫                      2. 労働組合                      3. 共済組合                      4. 職員団体

問3 6世紀に百済から日本に仏教が伝来した当初、人々は仏を在来の神々とは異なる「異国の神」として認識し、神の一種として受け止めた。このような、伝来初期における仏の呼び名として最も適当な用語を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 他神                      2. 蕃神                      3. 国神                      4. 垂迹

問4 日本の刑事司法において、冤罪による人権侵害を防ぎ、誤った裁判から被告人を救済するための制度が設けられている。すでに裁判が終了して判決が確定している場合であっても、その事実認定に合理的な疑いを生じさせるような新たな証拠が発見された場合などに、有罪の言い渡しを受けた者の利益のために裁判をやり直すことができる制度を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 控訴                      2. 再審                      3. 保釈                      4. 起訴

問5 ある地方自治体が市営体育館の起工式において、神職を招いて行った儀式に公金を支出したことの是非が争われた。最高裁判所は、この儀式が宗教的活動にあらず世俗的な行事であるとして、政教分離原則に反せず合憲であるとの判断を下した。この一連の裁判を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 空知太神社訴訟                      2. 愛媛玉串料訴訟                      3. 津地鎮祭訴訟                      4. 箕面忠魂碑訴訟

問6 全体主義の起源を分析したことで知られる20世紀の思想家は、古代ギリシャのポリスにおける市民の生を手がかりに、人間の営みを3つに分類した。生命維持のための「労働」や、道具や作品を製作する「仕事」に対し、言葉を通じて他者と関わり合い、自由な公共空間を形成する営みの重要性を説いた、著書『人間の条件』で知られるこの人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アーレント                      2. ハーバーマス                      3. シュミット                      4. ノージック

問7 近代の市民社会において、人々は封建的な束縛から解放されて自由を手に入れたものの、それによって生じた孤独や不安に耐えかねて、強大な力を持つ指導者に依存し、その意志に同調・追随してしまう傾向があることを指摘し、ナチズム台頭の心理的背景を解明したドイツの社会心理学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. オルテガ                      2. ミルズ                      3. フロム                      4. リースマン

問8 近年の世論調査において、多くの年齢層で時間のゆとりが減少していると回答する割合が増加するなか、仕事と個人生活の調和を図り、多様な生き方を選択できるようにするための取り組みや考え方を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ディーセント・ワーク                      2. ワーク・ライフ・バランス                      3. ノーマライゼーション                      4. ワーク・シェアリング

問9 近年、インターネットを通じて不特定多数の人々から新規事業などのための資金を募る手法が普及している。この手法は、調達した資金について返済する義務を負わず、事業の業績にかかわらず、資金提供者に対してあらかじめ約束した商品やサービスなどの特典を提供する特徴を持つ。この資金調達的手法を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. クラウドファンディング                      2. コマーシャルペーパー                      3. エクイティファイナンス                      4. プロジェクトファイナンス

問10 日本の国税のうち、個人の所得に対して課され、課税対象額が大きくなるほど高い税率が適用される、所得再分配機能の中心的な役割を担う直接税は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 所得税                      2. 法人税                      3. 贈与税                      4. 相続税

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	<b>答え 4</b> 司法消極主義	民主主義社会において、法律を制定する国会は国民から直接選挙で選ばれた代表によって構成されている。これに対し、裁判官は民主的基盤が直接的ではないため、裁判所が国会の立法行為を容易に違憲と判断することは、議会制民主主義の原則に反する恐れがある。そのため、違憲審査権の行使を慎重にとどめるべきだとする考え方が生じる。これに対し、少数者の人権擁護などの観点から積極的に違憲審査を行うべきだとする立場は司法積極主義と呼ばれる。
問2	<b>答え 2</b> 労働組合	労働者が主体となって組織する団体を労働組合と呼ぶ。労働組合組織率と労働生産性の間には直接的な因果関係は認められず、組織率が同水準であっても国によって労働生産性に大きな開きがある。これは、労働生産性が技術水準や産業構造、労働慣行など多様な要因に影響されるためである。
問3	<b>答え 2</b> 審神	仏教が日本に伝来した当初、人々は仏を在来の神々とは異なる異国の神として認識し、これを「となりのくにのかみ」あるいは「あだしくにのかみ」などと呼び、漢字では「審神」と表記した。これは、仏教を既存の神祇信仰の枠組みの中で理解しようとした初期の受容形態を示している。その後、神と仏を融合させる神仏習合の動きへと発展していった。
問4	<b>答え 2</b> 再審	刑事裁判の確定判決に対して、事実認定の誤りを正し、無辜の者を救済するために設けられた非常救済手続である。有罪判決を受けた者の利益のためにのみ請求が認められており、新証拠の明白性などが厳格に審査される。
問5	<b>答え 3</b> 津地鎮祭訴訟	最高裁判所は、国家と宗教との関わり合いが、社会の慣習に照らして許容される限度を超える場合にのみ政教分離原則に反するとする「目的効果基準」を採用した。本件の起工式（地鎮祭）への公金支出については、その目的が世俗的であり、特定の宗教を援助・助長する効果を持たないとして合憲と判断した。
問6	<b>答え 1</b> アーレント	『全体主義の起源』や『人間の条件』を著したハンナ・アーレントは、ナチズムなどの全体主義が台頭した背景に、人々が私的な領域に閉じこもり、公共的な関わりを失った「大衆社会」の成立があると考えた。彼女は、言葉と行為を通じて他者と関わり合う「活動」の場としての公共空間の再建を訴えた。
問7	<b>答え 3</b> フロム	精神分析学の知見を用いてファシズムの心理的社会的背景を分析した。近代人が自由の重圧に耐えかねて、自ら進んで権威に服従する「権威主義的パーソナリティ」を明らかにし、民主主義社会における大衆の心理的危機を警告した。
問8	<b>答え 2</b> ワーク・ライフ・バランス	近年の意識調査では、時間のゆとりが減少していると感じる人が増えており、自由時間の過ごし方にも変化が見られる。このような背景から、労働時間の短縮や多様な働き方の推進を通じて、仕事と私生活（家庭、地域活動、自己啓発など）の調和を実現する「ワーク・ライフ・バランス」の重要性が指摘されている。
問9	<b>答え 1</b> クラウドファンディング	インターネットの普及を背景に登場した、新しい資金調達的手法である。銀行融資（間接金融）のような元本返済や利子支払いの義務がなく、株式発行（直接金融）のような配当の分配や経営権の譲渡も必要としない。その代わりに、資金提供者に対してあらかじめ設定した商品やサービスなどの特典（リターン）を提供する仕組みとなっている。
問10	<b>答え 1</b> 所得税	個人の1年間の所得に対して課される直接税であり、納税者の担税力（税を負担する能力）に応じて税率が高くなる超過累進税率が採用されている。これにより、貧富の格差を是正する役割を果たしている。一方、消費税などは税率が一律であるため、低所得者ほど負担割合が大きくなる逆進性がある。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.2

名前

得点

/10

問1 日本の租税制度において、所得再分配機能を果たすために累進課税制度が導入されており、個人の所得に対して課される代表的な直接税（国税）は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 所得税                      2. 法人税                      3. 相続税                      4. 贈与税

問2 2000年代以降、IT産業の発展や旺盛な国内需要を背景に高い経済成長を遂げて一人当たりGDPを大きく伸ばしているものの、原油などの資源輸入の多さから貿易収支の赤字が継続している、南アジアに位置する国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. トルコ                      2. インド                      3. イラン                      4. ラオス

問3 日本の伝統的な雇用慣行において、特定の職務や勤務地を限定せずに労働者を採用し、終身雇用や年功序列型賃金を前提として、企業内での配置転換を通じて多様な職務を経験させる雇用形態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジョブ型雇用                      2. ポートフォリオ型雇用                      3. メンバーシップ型雇用                      4. プロジェクト型雇用

問4 人工知能（AI）がどれほど高度な処理を行っても、それは事前に設計された規則に従って記号を操作しているに過ぎず、真の意味で言葉の意味を理解しているわけではないということを、部屋の中に閉じこもってマニュアル通りに漢字を処理する人物の例えを用いて説明した、アメリカの哲学者による思考実験を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 経験の機械                      2. 水槽の脳                      3. マリーの部屋                      4. 中国語の部屋

問5 労働者が使用者との対等な交渉力を確保し、労働条件の維持改善を図るために自主的に組織する団体であり、その加入割合を示す指標の国際比較において、日本とドイツのように同水準であっても1時間当たりの労働生産性に大きな差が見られることから、その組織率の違いが直接的に生産性の高低を決定づけるわけではないとされる組織は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働金庫                      2. 労働組合                      3. 共済組合                      4. 職員団体

問6 水道事業や電気・ガス事業などの巨大な設備投資を必要とする産業において、生産量が増加するほど、製品やサービス1単位あたりの平均費用が低下する現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 規模の経済                      2. 密度の経済                      3. 範囲の経済                      4. 速度の経済

問7 ドイツの思想家ベンヤミンは、写真や映画などの複製技術の発展に伴う芸術の変容を論じた。彼が、複製技術の普及によって失われると指摘した、芸術作品が「いま・ここ」に存在することに由来する、唯一無二の神秘的な輝きや一回性のことを何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. モード                      2. コピー                      3. アウラ                      4. コード

問8 日本国憲法第39条前段は、ある行為を行った時点において合法であったことに対し、その後に制定された法を用いて刑事責任を追及することを禁じている。国家による恣意的な刑罰権の行使を防ぎ、国民の行動の自由と法的安定性を確保するために確立された、この人権保障上の原則を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 遡及処罰の禁止                      2. 二重処罰の禁止                      3. 罪刑法定の原則                      4. 令状主義の原則

問9 江戸時代の町人思想家である富永仲基は、仏教經典の成立過程を歴史的・批判的に分析した。彼は、後世の思想家が先人の説の上に新たな主張を付け加えていくことで思想や經典が発展・変化したと主張したが、この学説を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 尊王論                      2. 古道説                      3. 古義学                      4. 加上説

問10 個人の身体や正当に獲得した財産に対する絶対的な権利を重視し、社会全体の福祉や弱者救済を目的とするものであっても、国家による課税や財産の強制的な再分配は個人の権利を侵害する不当な介入であるとして、政府の役割を最小限に抑えるべきだと主張する、現代の政治・倫理思想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. イガリタリアニズム                      2. リベラリズム                      3. コミュニタリアニズム                      4. リバタリアニズム

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え 1</b> 所得税	個人の所得に対して課される国税であり、所得が多くなるほど高い税率が適用される累進課税制度が採用されている。これにより、高所得者から多くの税を徴収し、社会保障などを通じて低所得者へ再分配することで、格差の社会的な是正と公平性の確保が図られている。
問2	<b>答え 2</b> インド	2000年代以降、南アジアのこの国はIT産業の発展や旺盛な国内需要を背景に高い経済成長を遂げ、一人当たりGDPを大きく伸ばしています。しかし、経済成長に伴うエネルギー需要の増加により原油などの輸入額が輸出額を上回っており、貿易収支は赤字基調が続いています。
問3	<b>答え 3</b> メンバーシップ型雇用	日本の伝統的な雇用形態では、職務を特定せずに企業の一員として採用する形態が一般的であった。この形態では、企業内での配置転換を通じて様々な職務を経験させることが前提となる。これに対し、職務内容を明確に定義して契約を結ぶ雇用形態はジョブ型雇用と呼ばれる。
問4	<b>答え 4</b> 中国語の部屋	サールが提示したこの思考実験は、コンピュータがプログラム（アルゴリズム）に従って適切な出力を得られたとしても、それは記号の形式的な操作に過ぎず、人間のような主観的な「心」や「意識」を伴う理解ではないことを示している。これにより、AIを人間と同等に尊重すべきだという立場に対して、AIには意識や心が不在であるという批判的根拠が与えられる。
問5	<b>答え 2</b> 労働組合	労働者が主体となって組織する団体を労働組合と呼ぶ。労働組合組織率と労働生産性の間には直接的な因果関係は認められず、組織率が同水準であっても国によって労働生産性に大きな開きがある。これは、労働生産性が技術水準や産業構造、労働慣行など多様な要因に影響されるためである。
問6	<b>答え 1</b> 規模の経済	水道事業などのインフラ産業は、初期に巨額の固定費（設備投資）を必要とする。このため、利用者が増えて生産量（給水量）が増加するほど、固定費が分散されて製品1単位あたりの平均費用が低下する。この現象を「規模の経済」と呼び、これが働く産業では、複数の事業者が競合するよりも単一の事業者が供給する方が効率的になる。
問7	<b>答え 3</b> アウラ	複製技術の登場によって、オリジナルな芸術作品が持っていた「いま・ここ」にしかない一回性や本物性としての神秘的な輝きが失われると論じられた。この失われる輝きや一回性のことを「アウラ」と呼ぶ。アウラの消滅は、芸術作品の受容のあり方を儀礼的なものから展示的なものへと変化させ、大衆化を促したとされる。
問8	<b>答え 1</b> 遡及処罰の禁止	日本国憲法第39条前段は、「何人も、実行の時に適法であつた行為……については、刑事上の責任を問はれない」と規定している。これは、行為の時に適法であつた行為に対して、事後に制定された法律によって遡って処罰することを禁止する原則である。これにより、国民は行為時に存在した法律に基づいて自らの行動を決定することができ、後から作られた法律によって不意打ち的に処罰されるのを防ぐことができる。
問9	<b>答え 4</b> 加上説	富永伸基が唱えた、後世の思想家が前代の説の上に新たな説を付け加えていくことで思想や経典が発展・変化したとする歴史的・批判的な経典研究の学説は「加上説」と呼ばれる。彼はこの説に基づき、仏教経典のすべてが釈迦自身の言葉ではないと論じた。
問10	<b>答え 4</b> リバタリアニズム	個人の自由や自己所有権を最大限に尊重する立場であり、国家による介入や財産の強制的な再分配を最小限に抑えるべきだと主張する。ロールズらが提唱する福祉国家的な再分配を批判する文脈で、ノージックらによって理論化された。



## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 4 内閣	日本国憲法第73条第3号は、条約を締結する権限を行政権の首長とその構成員からなる機関に認めている。しかし、条約は国内法と同様の効力を持つことがあるため、民主的統制の観点から、立法機関である国会の承認を必要とする二重のチェック体制が採られている。
問2	答え 3 アウグスティヌス	プロティノスの新プラトン主義や使徒パウロの思想を吸収し、キリスト教神学を体系化した教父アウグスティヌスは、著書『告白』などで美と神への愛について論じた。彼は、地上の美しいものはすべて神の美の反映（作られた美）であるが、人間がその被造物の美自体に溺れてしまうことは、美の創造主である神への愛を忘れることにつながると警告した。
問3	答え 1 空	すべての存在は相互に依存し合って成り立っているという「縁起」の道理を徹底し、固定的な実体（自性）をもたないとする思想である。初期仏教の「諸法無我」の教えを理論的に発展させたもので、2〜3世紀頃のインドの学者である竜樹（ナーガールジュナ）らによって体系化された。のちにこの思想は、万物はただ心の現れにすぎないとする唯識思想などととも、大乘仏教の理論的支柱となった。
問4	答え 3 アイヌ施策推進法	2019年に制定されたこの法律は、それまでのアイヌ文化振興法に代わり、アイヌの人々を法律上初めて「先住民族」と位置づけた。文化振興にとどまらず、地域や産業の振興、差別の禁止、名誉の尊重などを総合的に推進することを目的としている。
問5	答え 2 裁判を受ける権利	日本国憲法第32条は、何人も裁判所において法に基づいた公正な裁判を求めることができることを保障している。これは、国家に対して一定の行為や救済を求めることができる「国務請求権（受益権）」の一種であり、個人の権利や自由が侵害された場合に、司法手続きを通じてその救済を図るための極めて重要な権利である。
問6	答え 2 サービス貿易	デジタル技術の発展やグローバル化に伴い、形のある「モノ（財）」の取引だけでなく、無形の価値をやり取りする取引が急増している。インドなどのIT企業へのシステム開発委託や、海外プラットフォームによるデジタルコンテンツの配信などはその典型例であり、これらは国際収支統計において「サービス収支」などに計上される。
問7	答え 3 枠組条約方式	地球温暖化対策のように、利害対立が激しく一挙に具体的な数値目標を定めることが困難な国際問題において、まず大枠の理念や協力体制を定めた条約を結び、その後の締約国会議などを通じて具体的な義務や数値を定めた議定書や協定を段階的に策定していく手法を枠組条約方式という。国連気候変動枠組条約（UNFCCC）や生物多様性条約などでこの手法が採用されている。
問8	答え 3 世界金融危機	2008年に発生したアメリカのリーマン・ブラザーズの破綻などに象徴される世界金融危機は、世界的な大不況を引き起こした。輸出依存度の高かった日本経済も深刻な打撃を受け、実質経済成長率は大幅なマイナスを記録した。
問9	答え 1 マネーストック	中央銀行が供給するマネタリーベースを基礎として、民間金融機関が貸出しを繰り返す信用創造により、社会全体の通貨量は増大する。この、国や金融機関を除く通貨保有主体（個人、一般法人、地方公共団体など）が保有する通貨量の残高をマネーストックと呼ぶ。景気動向や物価の安定を図るための金融政策において、重要な判断指標の一つとなっている。
問10	答え 3 実質的平等	単に同じルールを適用する「形式的平等」に対し、個人の置かれた初期条件や社会的背景の違いを考慮し、事実上の格差を是正して結果の平等を確保しようとする考え方を実質的平等と呼ぶ。これに基づき、社会的少数派に対する優遇措置などが取られることがある。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.4

名前

得点

/10

問1 日本の労働政策において、事業主に対して一定割合以上の障害者の雇用を義務づけるとともに、納付金制度などを通じて雇用に伴う経済的負担の調整や雇用の促進を図ることを定めた法律は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 障害者雇用促進法                      2. 高齢者虐待防止法                      3. 障害者差別解消法                      4. 障害者虐待防止法

問2 世俗の生活を送りながらも、煩悩に汚されることなく、他者救済の菩薩道を実践できることを説き、出家者中心の仏教を批判して在家の立場から真の仏教のあり方を示した、大乘仏教を代表する経典は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 般若経                                      2. 法華経                                      3. 華嚴経                                      4. 維摩経

問3 一国の領土内で新たに生み出された付加価値の合計額を指し、海外に居住する自国民が得た所得を含まない一方で、その領土内で活動する外国人が生み出した価値は含む、経済活動の規模を測る代表的な指標を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 国民純生産                                2. 国民総生産                                3. 国内総生産                                4. 国民総所得

問4 近年、建設業などの異業種が経営の多角化を目指して農業分野へ参入する動きが活発化している。このように一般企業（法人）がリース方式によって農地を借り受けて農業に参入することを原則自由化した、2009年に大幅な改正が行われた日本の法律は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 借地法                                      2. 農地法                                      3. 農会法                                      4. 森林法

問5 ナチスの強制収容所での過酷な体験を精神医学者の視点から見つめ、人間が単なる数字として数量化され、組織的な目標のもとで個人の存在が蔑ろにされる極限状態を描きつつも、人間が生きる意味を求め続ける尊厳ある存在であることを示した著書のタイトルは何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 理性と実存                                2. 存在と無                                3. 死と愛                                      4. 夜と霧

問6 アメリカの政治学者ジーン・シャープが提唱した、独裁体制に対して武力を使わずに抵抗する手法。市民が自主的な非政府団体を多数組織して社会の自律性を高め、人々の自由な交流や連帯を通じて権力への依存を断ち切ることで、独裁権力を崩壊に導くことができるとした、この抵抗方法を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 非暴力不服従                              2. 市民的不服従                              3. 環境保護運動                              4. 非暴力的闘争

問7 資本主義経済における契約自由の原則のもとでは、当事者双方が対等な立場で合意することが前提となる。しかし、実際には経済力に勝る使用者に対して労働者の立場が弱いため、この原則をそのまま適用すると労働者に不利な条件が課される恐れがある。そのため、国家が介入して労働条件の最低限度のルールを定め、労働者を保護することを目的として制定された、日本の代表的な法律は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働組合法                                2. 最低賃金法                                3. 労働契約法                                4. 労働基準法

問8 経済的格差を是正し所得の再分配を図るため、課税対象額が大きくなるに従って、より高い税率を適用する課税方式を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 累進課税制度                              2. 総合課税制度                              3. 比例課税制度                              4. 逆進課税制度

問9 功利主義の立場において、ベンサムが法律や世論といった外部からの強制力を重視したのに対し、その修正を試みた思想家は、他者への同情や共感といった社会的感情に根ざす、自己の良心の痛みによる強制力を重視した。この強制力を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 物理的制裁                                2. 道徳的制裁                                3. 外面的制裁                                4. 内面的制裁

問10 発展途上国の低所得層（購買力平価で年間所得が3,000ドル未満の層など）を対象として、現地の人々の生活水準の向上や社会課題の解決に貢献しつつ、自社の利益も確保することを目指す持続可能な企業活動を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. BOPビジネス                                2. フェアトレード                                3. ソーシャルビジネス                                4. SDGsビジネス

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え 1</b> <b>障害者雇用促進法</b>	障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）は、障害者の職業の安定を図るため、国や地方公共団体、民間企業に対して一定割合以上の障害者の雇用に義務づけている。この義務を果たすための基準として法定雇用率が定められており、未達成の企業からは納付金を徴収し、達成している企業に対して調整金や報奨金を支給する制度が設けられている。
問2	<b>答え 4</b> <b>維摩経</b>	大乘仏教では、出家して世俗を離れることだけが仏道ではなく、煩惱に満ちた現実世界（輪廻）にとどまりながらもそれに染まらず、他者救済（利他）に努めることが重視された。この思想を、在家の信者である維摩（ヴィマラキールティ）を主人公として劇的に描いたのがこの経典である。泥の中に咲きながらも泥に染まらない蓮華に例えて、世俗における菩薩のあり方が説かれている。
問3	<b>答え 3</b> <b>国内総生産</b>	一国の領土内（国内）で一定期間内に新たに生み出された付加価値の合計額を指す。自国民が海外で得た所得を含み、国内の外国人が得た所得を除く「国民総所得（GNI）」や「国民総生産（GNP）」とは、居住者と領土のどちらを基準にするかという点で区別される。
問4	<b>答え 2</b> <b>農地法</b>	2009年の農地法改正により、企業の農業参入が原則自由化され、建設業などの異業種が経営の多角化を目的として参入する事例が増加した。参入企業にとっては生産した農産物の販路の開拓が最大の課題となっており、自治体によるビジネスマッチングなどの支援が行われている。
問5	<b>答え 4</b> <b>夜と霧</b>	オーストリアの精神医学者 فرانクルは、第二次世界大戦中にアウシュヴィッツなどの強制収容所に送られた。彼はその極限状態における体験を客観的に分析し、人間が単なる数量として管理され、個人の尊厳が奪われる状況を描き出した。しかし同時に、どのような過酷な状況にあっても、人間は自らの生きる意味を見出し、精神的自由を保ち続けることができると主張した。この体験と考察をまとめた名著が『夜と霧』である。
問6	<b>答え 4</b> <b>非暴力的闘争</b>	ジーン・シャープは、独裁体制に対抗するために武力ではなく非暴力的な手段を用いることを提唱した。市民が自主的な非政府団体を組織して社会的なネットワークを形成し、相互に関心を持ち合うことで、独裁権力に対する社会の抵抗力と自律性を高めることができるとした。
問7	<b>答え 4</b> <b>労働基準法</b>	資本主義社会において、労働者と使用者は法的には対等な契約の主体とされるが、現実の経済的力関係においては労働者の方が弱い立場にある。そのため、契約自由の原則を無制限に適用すると、労働者にとって過酷な労働条件が設定される危険性がある。これを防ぐため、国家が介入して労働条件の最低基準を定め、労働者を保護する目的で労働基準法が制定された。同法に定める基準に達しない労働契約は無効とされ、その部分は同法で定める基準に置き換わる。
問8	<b>答え 1</b> <b>累進課税制度</b>	所得が多くなるほど高い税率を適用する仕組みであり、所得税や相続税などに導入されている。これにより、高所得者から多くの税を集め、社会保障などを通じて低所得者に還元することで、社会的な格差を縮小させる効果（所得再分配機能）を持つ。これに対し、消費税などは所得の低い人ほど負担感が重くなる「逆進性」を持つ。
問9	<b>答え 4</b> <b>内面的制裁</b>	ベンサムは物理的・政治的・道徳的（世論）・宗教的な4つの「外面的制裁」を重視したが、J. S. ミルはこれらに加えて、義務に背いたときに心の中に生じる痛みや良心の呵責である「内面的制裁」を、道徳的行為を促す究極の強制力として重視した。
問10	<b>答え 1</b> <b>BOPビジネス</b>	発展途上国の低所得層（Base of the Pyramid）を対象とした企業活動は、BOPビジネスと呼ばれる。これは、単なる慈善活動や援助ではなく、現地の人々に必要な製品やサービスを安価で提供することで、生活水準の向上や社会課題の解決を図りながら、企業としても持続可能な利益を確保するビジネスモデルである。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.5

名前

得点

/9

問1 自らの文化の基準を絶対的なものとし、自分たちの文化が他よりも優れていると考えて他者の文化を評価・判断しようとする態度や心情を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ユーロセントリズム      2. オリエンタリズム      3. エスノセントリズム      4. アカルチュレーション

問2 第二次世界大戦後の日本を代表する政治学者・思想史家であり、日本の思想状況について、外来の様々な思想が歴史的な対決や統合を経ることなく、新旧の思想がただ並列的に共存している状態を表現して批判的に分析した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 吉本隆明      2. 鶴見俊輔      3. 丸山真男      4. 大塚久雄

問3 国際情勢の緊迫化や異常気象などによる不測の事態が生じた際にも、海外からの輸入が途絶することに備え、自国に必要な食料を確保・供給できるようにする取り組みや状態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 食料管理制度      2. 農業保護政策      3. 食料安全保障      4. 地産地消運動

問4 社会保障の国際比較において、租税負担と社会保障負担を合わせた国民負担率が非常に高く、手厚い社会保障制度が整備されている「高福祉高負担」の代表的な国として知られる国がある。この国では、老後の生活保障や医療・介護などの公的支援が充実しているため、老後に備えて個人が職業能力を向上させるといった自助努力を行う比率が、アメリカや日本などの他国に比べて相対的に低い傾向にある。この特徴を持つ北欧の国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スウェーデン      2. ノルウェー      3. フィンランド      4. デンマーク

問5 新プラトン主義の哲学者プロティノスや使徒パウロの影響を受け、キリスト教神学を大成した古代の思想家がいる。彼は、地上の芸術や自然などの「作られた美」はすべて美の源泉である神に由来するが、人間がその被造物の美そのものに執着することは、真の目的である神への愛から遠ざかる畏になり得ると警告した。この思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ヒエロニムス      2. アンブロシウス      3. アウグスティヌス      4. テルトウリアヌス

問6 災害などの危機的状況に直面した際、生じている異常事態を日常の範囲内の出来事として過小評価し、「自分は大丈夫だ」と思い込んで避難などの適切な行動を遅らせてしまう心理的傾向を何というか。国や自治体には、こうした傾向の影響をできるだけ抑えた判断を促すため、公的な情報の利用を容易にするなどの環境整備が求められている。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 生存者バイアス      2. 楽観的バイアス      3. 悲観的バイアス      4. 正常性バイアス

問7 ドイツ出身の政治哲学者ハンナ・アーレントは、人間の能動的な生を、生命維持に必要な消費財を生産する「労働」、耐久的な使用価値を持つ事物を製作する「仕事」、そして他者との関わりの中で展開される政治的営みの三つに分類した。このうち、複数の人間が言葉と行為を介して公共空間で直接働きかけ合い、自らの個性を現し合う営みを何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 仕事      2. 労働      3. 活動      4. 観照

問8 ジェンダーギャップの解消や多様性の確保を阻む要因として、個人が自覚しないまま「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ」といった固定的な役割分担を正しいと捉えてしまう心理的な傾向を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アンコンシャス・バイアス      2. フレーミング・エフェクト      3. ハロー・エフェクト      4. ピア・プレッシャー

問9 ある地方自治体が体育館の起工式において、神職を招いて神道式の儀式を行い、その費用を公金から支出した行為について、最高裁判所が「目的が世俗的であり、特定の宗教を援助・助長・促進する効果を持たない」として、憲法第20条の政教分離原則に違反しない（合憲）と判断した判例を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 自衛官合祀訴訟      2. 箕面忠魂碑訴訟      3. 津地鎮祭訴訟      4. 愛媛玉串料訴訟

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	<b>答え 3</b> <b>エスノセントリズム</b>	自分たちの文化が他よりも優れているとみなす態度は、日本語で「自民族中心主義」とも呼ばれる。この態度に陥ると、他文化の独自の価値を理解することが困難になり、偏見や摩擦を生む原因となる。これに対比される概念として、各文化をその文脈において理解しようとする「文化相対主義」がある。
問2	<b>答え 3</b> <b>丸山真男</b>	日本の思想史において、外来の思想が歴史的に蓄積・体系化されず、新旧の思想がただ「雑居」している状態を批判的に分析した。著書『日本の思想』などで知られ、戦後民主主義の思想的支柱となった。
問3	<b>答え 3</b> <b>食料安全保障</b>	国際的な紛争や災害などによって農産物の輸入が滞るリスクに対処するため、国内の農業生産力を維持・向上させ、国民に必要な食料を安定的に確保・供給できる状態を維持することを目指す考え方である。近年、食料自給率の低下や地球温暖化に伴う不作などを背景に、その重要性が改めて議論されている。
問4	<b>答え 1</b> <b>スウェーデン</b>	高福祉高負担の福祉国家として知られる北欧の国に関する問題である。この国では、高い国民負担率を背景に、医療や教育、介護などの社会保障制度が極めて充実している。そのため、老後の生活や失業時のリスクに対して個人が私的に多額の備え（職業能力の向上や私的年金など）をする必要性が、アメリカや日本などの「低福祉低負担」あるいは「中福祉中負担」の国々に比べて相対的に低くなっている。
問5	<b>答え 3</b> <b>アウグスティヌス</b>	プロティノスの新プラトン主義や使徒パウロの思想を吸収し、キリスト教神学を体系化した教父アウグスティヌスは、著書『告白』などで美と神への愛について論じた。彼は、地上の美しいものはすべて神の美の反映（作られた美）であるが、人間がその被造物の美自体に溺れてしまうことは、美の創造主である神への愛を忘れることにつながると警告した。
問6	<b>答え 4</b> <b>正常性バイアス</b>	災害時において、危険が迫っているにもかかわらず「大したことはない」と事態を過小評価してしまう心理的傾向を正常性バイアスと呼ぶ。避難行動の遅れを防ぐためには、個人が自身の初期判断の誤りに客観的に気づけるよう、信頼性の高い公的情報へ迅速にアクセスできる環境を整えることが重要である。
問7	<b>答え 3</b> <b>活動</b>	アーレントは『人間の条件』において、人間の能動的な生（ヴィタ・アクティヴァ）を「労働」「仕事」「活動」の三つに区別した。肉体の生命維持のための「労働」や、人工的な世界を構築する「仕事」に対し、他者の存在する公共空間において言葉と行為を通じて自己の個性を現し、他者と直接関わり合う政治的営みを「活動」と呼んだ。アーレントは、この「活動」において人々が多様な視点（複数性）を認め合うことが、人々を孤立させ画一化する全体主義への対抗策になると考えた。
問8	<b>答え 1</b> <b>アンコンシャス・バイアス</b>	個人の意思決定や他者への評価において、自覚のないまま性別や属性に基づいた偏った見方をしてしまう現象を指す。これが社会的な慣習や制度と結びつくことで、雇用や昇進における不平等、家庭内での役割分担の固定化などを引き起こす背景となるため、その存在を自覚し解消していくことが求められている。
問9	<b>答え 3</b> <b>津地鎮祭訴訟</b>	1977年の最高裁判決において、市が主催した神道式の起工式（地鎮祭）への公金支出が争われた。最高裁は、国家と宗教の関わり合いが信教の自由の保障の趣旨に照らし、相当とされる限度を超えるものかどうかを判断する基準として「目的効果基準」を提示した。この儀式は世俗的な目的で行われ、特定の宗教を援助・助長する効果を持たないため、憲法第20条第3項の禁止する「宗教的活動」には当たらない（合憲）と判断された。これに対し、愛媛玉くし料訴訟や空知太神社訴訟などでは違憲判決が下されている。